

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

平成28年4月19日に小学校6年生と中学校3年生を対象として実施された国語と算数・数学の「全国学力・学習状況調査」結果の安芸市の概要について報告します。各教科の調査には、A問題と、B問題があります。A問題は基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題であり、B問題は基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題が出題されます。

この調査の目的は、次に掲げる3点です。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

以上の目的に則して、学校では自校の学力や学習状況を分析して授業改善に努めています。

本調査が開始されて以来、各校は取組を推進して一定の成果を出しています。本年度までの安芸市の結果を見ると、年を重ねる毎に改善傾向にあり、全国平均前後の結果になっています。

しかし、学力定着やその応用や活用においては課題がみられ、今後も取組を継続してまいりますので、みなさまのご理解やご支援をお願い申し上げます。

【今後の取組】(本内容は、学力に特化した記載となりますことを予めご了承ください。)

安芸市立小中学校では、現在、そして社会に出ても役立つ力が身に付く学校教育の推進のため、正しい言動と判断を行うことが出来て、人や命やもの、伝統文化等を大切にすることを高め、自立した人物となるように教育活動を進めてまいります。

これからの世界は、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会はめざましく変化していきます。そのため生活スタイルや働き方等、大きな変化が予想されます。児童生徒が今とこれからの世界でしっかりと生きていく学力をつけるために、「児童生徒の、主体的・対話的で深い学びを構築する」授業の確立が求められています。

そこで、安芸市立小中学校では、次の(1)から(3)を実施します。

- (1) 基礎的な知識・技能の定着を図り、これらを活用して問題解決をするために必要な思考力・判断力・表現力を育成します。

- (2) 各学校においては、①「ねらい」と「めあて」、②「まとめ」と「振り返り」を確実に実施し、「つきたい力」を明確にし、「ついた力」を確実にみとる授業を展開します。
- (3) 児童生徒が主体的に話し合い・教え合い・学び合いが行われる授業を行います。

そのため、小学校「国語」では、話し相手や文章が意図する内容や展開をしっかりと捉え、自分の考えとの共通点や相違点を見いだして、話したり書く力の向上を図ります。この力は、自分の意見や質問を相手に伝わるように工夫する力が向上し、その活動により自他の考えを深めることができます。また、主体的に聞いたり読んだりする力が高まります。

表現力を豊かにするために、児童がお互いの文章を比較したり助言する活動を行います。また、図表等の活用を指導して、より分かりやすく根拠をもった文書を作成する能力の向上に努めます。

文章の読解力の向上のために、描写されている内容を明確に把握する指導を工夫します。時には、課題解決を意識した読解を行い、情報に対する適切な活用能力が高まる指導に努めます。

また、「算数」では、正確な計算力を高めるために、結果を見積もったり性質の理解により計算の仕方を考える指導を工夫します。また、日常の場面で、計算等で用いた式や答え等が表す内容で考察して、式や単位等を実感することも指導します。

問題解決した後は、自分で数値や形などの条件を変えて、発展的に考察する活動をもうけます。このように、基本的な問題での解決方法を応用したり活用する力の向上に努めます。

図形の特長や式の意味の理解を深めて、式の意味や構成要素に着目して説明する力を高め、筋道を立てて考えて判断の根拠を過不足無く示して説明することが出来る力の定着を図ります。

次に、中学校「国語」では、自分の考えを深めたり広げて話したり書いたりするために、他の意見や文書の共通点や相違点を見つけるとともに、多面的な視点に立って内容や過程を把握し、振り返る力の向上を図ります。

自分の考えや気持ちについて根拠を明確にして書く力を付けるために、読み手にとって文が論理的で適切な語句やグラフ等が組み込まれているか、確認しながら書く指導を行います。

読解においては、文章の構成や展開、表現の仕方、そこから読み取れる書き手の目的や意図や効果を考える指導を行います。

課題解決に必要な情報収集とその適切な活用のために、自ら課題を設定し、基礎的・基本的な知識・技能を活用して他者との協働や他の領域や教科等との関連を計りながら学習活動を行っていきます。

「数学」では、問題を解決するための対象を捉え、問題を読み取り、数学的に処理した結果に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明できる力の育成に努めます。

結論を導くための手段や条件の整理をすることを通して、筋道を立てて証明したり見いだしたことを数学的な表現を用いて説明する力の伸長を図ります。

様々な問題で数学を活用して解決できるように、表や式やグラフ等の数学的な解釈に基づいて、方法を数学的に説明できる力の向上や資料を活用し整理し的確に読み取り捉えることが出来る能力の伸長に努めます。